

# 令和7年度 強度行動障害支援者養成＜実践＞研修

## ワークシート

※ワークシートは演習で使用しますので、片面印刷してください。

---

WS①：行動チェックシート

---

WS②：氷山モデルシート

---

WS③：行動チェックシート

---

WS④：特性確認シート

---

WS⑤：環境確認シート

---

WS⑥：強み（ストレングス）確認シート

---

WS⑦：氷山モデルシート（グループ用）

\* 当日、各グループに  
1枚（A3）配布予定

---

WS⑧：支援手順書

---

WS⑨：支援手順書（グループ用）

\* 当日、各グループに  
1枚（A3）配布予定

---

WS⑩：支援手順書[修正用]

---

WS⑪：支援手順書[修正用]（グループ用）

\* 当日、各グループに  
1枚（A3）配布予定

---

## 行動チェックシート

ワークシート①

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない
		イ: 人の関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 曰課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていらないような行動がある	✓	
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

# 氷山モデルシート

ワークシート②

課題となっている行動

**作業中に自傷をする**

本人の特性

環境・状況

必要なサポート

支援のアイデア

本人の強み → 活かせそうな場面や状況

## 行動チェックシート

ワークシート③

		例	✓	本人の具体的な行動
社会性	人や集団との関係に難しさがある	ア: 視線が合わない	✓	支援者が話しかけても支援者の方を向かない
		イ: 人の関わりが一方的であることが多い		
		ウ: 相手の気持ちに関係なく行動する	✓	支援者が作業をするようにはたらきかけても動かない、水遊びに行く、「お出かけ」と言って歩き出す
	状況の理解が難しい	エ: 周囲に合わせて行動できない		
		オ: 周囲の状況に対して興味を示さない		
		カ: 危険や迷惑、社会のルールに関係なく行動する		
コミュニケーション	理解が難しい	キ: 言葉で指示をしても行動できない	✓	支援者が「作業をしましょう」と言っても座っている
		ク: 言葉で指示されたことと違うことをする	✓	支援者が「作業をしましょう」と言うと水遊びに行く
		ケ: 相手の言葉をそのまま繰り返す（エコラリア）	✓	「作業をしましょう」と言われて「作業」と繰り返す
	発信が難しい	コ: 行動や仕草などで自分の気持ちを現わす	✓	「お出かけ」と言って立ちあがる、歩きだす
		サ: 言葉で自分の気持ちを伝えることができない		
		シ: 言葉はあるが自分の気持ちを的確に伝えることができない	✓	「お出かけ」という言葉だけで自分の気持ちを伝えようとしている
	やりとりが難しい	ス: やりとりがかみ合わない		
		セ: やりとりが続かない		
		ソ: 唐突に話し始めたり、黙り込むことがある		
想像力	自分で予定を立てることが難しい	タ: やることがないときにウロウロしている、じっとしている		
		チ: 自分から動くことができない	✓	部屋に入るとイスに座ってじっとしている
		ツ: 予定の変更に混乱することが多い		
	変化への対応が難しい	テ: 自分のルールを変えると混乱することが多い		
		ト: 日課が変更されると混乱することが多い		
		ナ: 活動を途中でやめたり、変更することができない		
	物の一部に対する強い興味	ニ: 特定の物などへのこだわりや執着がある		
		ヌ: 自分の興味があるもの以外に関心を示すことができない	✓	お出かけにこだわり作業ができない
		ネ: 細かいことが気になってやるべきことができないことがある		
感覚	感覚が敏感または鈍感	ノ: 耳を塞ぐ、特定の音を嫌がる、特定の音を大音量にする、などの行動がある	✓	常に耳をふさいでいる
		ハ: 眩しがる、目を閉じる、蛍光灯を嫌がる、キラキラに没頭する、などの行動がある	✓	キラキラした刺激が好き（基本情報より）
		ヒ: 特定の感触に没頭する、極端に嫌がる、または感じていられないような行動がある	✓	水道の水を長時間触っている
		フ: 著しい偏食、刺激の強い味を好む、同じものばかり食べる、など行動がある		
		ヘ: 特定の臭いを嗅ぎたがる、極端に嫌がる、臭いで入れない場所がある、などの行動がある		
		ホ: クルクル回る、ロッキングが多い、高い場所が好き、不器用等、身体の動かし方に特徴がある		

課題となっている行動（本人が困っている行動）『 作業中に自傷する 』			
		背景となる特性	支援のアイデア
社会性	人や集団との関係に難しさがある	1) 相手への関心が薄い	✓
		2) 相手から期待されていることを理解するのが難しい	A) 汲み取ってもらう、察してもらうではなく、具体的に伝える(見え方の視点・やりとりの視点)
		3) 相手が見ているものを見て相手の考えを察することが難しい	B) 誰にどう伝えたらよいかを具体的に伝える（見え方の視点・やりとりの視点）
	状況の理解が難しい	4) 周囲で起こっていることへの関心が薄い	C) 「いつ」「どこで」「何を」の情報を見てわかるように伝える（方法の視点・やりとりの視点）
		5) 周囲の様子から期待されていることを理解するのが難しい	
		6) 見えないものの理解が難しい	
コミュニケーション	理解が難しい	7) 話し言葉の理解が難しい	D) 本人が理解できる見える情報（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）で伝える（やりとりの視点・見え方の視点）
		8) 一度にたくさんのこと理解するのが難しい	
		9) 抽象的であいまいな表現の理解が難しい	
	発信が難しい	10) 話し言葉で伝えることが難しい	E) 本人が発信しやすいツールを（文章、単語、絵、写真、シンボル、具体物など）提供する（やりとりの視点・見え方の視点）
		11) どのようにして伝えたらいいか分からない	
		12) 誰に伝えていいか分からない	
	やりとりが難しい	13) 場面や状況に合わせたコミュニケーションが難しい	F) 視覚的なツールでやりとりができるようにする（やりとりの視点・見え方の視点）
		14) 表情や視線などの非言語コミュニケーションが難しい	
		15) やりとりの量が多いと処理が難しい	
想像力	自分で予定を立てることが難しい	16) 段取りを適切に組むことが難しい	G) 本人に分かりやすく予定や変更を伝える（時間の視点）
		17) なんとなく、だいたいなどのイメージを持ちにくい	H) 始まりや終わりを分かりやすいようにする（時間の視点・場所の視点）
		18) 今やることを自分で判断することが難しい	I) 活動に意味や目的を持つことができる工夫をする（方法の視点）
	変化への対応が難しい	19) 先の予測をすることが難しい	J) 最初から正しい方法で行うことができるようになる（方法の視点）
		20) 臨機応変に判断することが難しい	
		21) 自分のやり方から抜け出すことが難しい	
	物の一部に対する強い興味	22) 興味関心が狭くて強い	
		23) 細部が気になり違いに敏感	
		24) 少しの違いで大きな不安を感じる	
感覚	感覚が敏感または鈍感	25) 聴覚の過敏や鈍感がある	K) 苦手な刺激を少なくするための配慮をする（場所の視点）
		26) 視覚の過敏や鈍感がある	L) 好きな刺激、必要な刺激は保障する（場所の視点）
		27) 觸覚の過敏や鈍感がある	
		28) 嗅覚の過敏や鈍感がある	
		29) 味覚の過敏や鈍感がある	
		30) 前庭覚の特有の感覚がある	

## 環境確認シート

ワークシート⑤

項目	環境確認の視点	具体的な環境
人	指示は何で出していますか（言葉・指さし・実物・紙に書いて等） 指示の量は適切ですか 指示のタイミングは適切ですか 支援をするときの立ち位置は適切ですか その他	
物	見ると勘違いするような物はありますか 見えると気になるような物が見えていますか 物の量で気づいたことはありますか その他	
場所	何をすべき場所なのか見ればわかるようになっていますか 同じ場所で複数の目的の活動をしていますか 整理整頓はできていますか 気が散りやすい環境になつていませんか その他	
状況	本人の体調はいつもと比べてどうですか その活動の前に気になるできごとはありませんでしたか その活動の内容に本人の苦手な動作や感触などが含まれていませんか その活動の目的（どうするのか、どうなつたら終わるのかなど）は理解できていますか その他	
音	その場所にはどんな音がしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
気温	その場所の気温は何度くらいでしたか（あるいは暑かった・寒かった等） その気温は本人にとって快適なものですか	
湿度	その場所の湿度は何%くらいでしたか（あるいは蒸していた・乾燥していた等） その湿度は本人にとって快適なものですか	
臭い	その場所にはどんな臭いがしていましたか その中に本人が苦手そうなものはありますか	
その他	その他本人が不安定になる要因になるかもしれないもの	

本人の強み（ストレングス）	活かせそうな場面や状況
<b>わかること・できること</b> 例) なくなったら終わり、ペットボトルのふたを開ける ハサミを使うのが上手 など	
<b>好きしたこと（遊び方、過ごし方、キャラクターなど）</b> <b>やりたがること</b> 例) ハンモックで揺れる ○○のキャラクター ピッタリはまる 色を合わせる	
<b>得意なこと（これには助けられているなど）見方を変えれば得意かもしれないこと</b> 例) 目的がわかれば待つことができる 変更は苦手だがいつもと同じことはできる	
<b>その他</b>	

# 氷山モデルシート

課題となっている行動

**作業中に自傷をする**

本人の特性

環境・状況

必要なサポート

支援のアイデア

具体的なサポート

本人の強み→活かせそうな場面や状況

## 支援手順書/記録用紙

ワークシート⑧

## 【作業場面】

日付け	20〇〇年〇月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
-----	-----------	----	--------	-----	------

工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)
事前準備			

## 支援手順書/記録用紙

ワークシート⑨：グループ用

## 【作業場面】

日付け	20〇〇年〇月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
-----	-----------	----	--------	-----	------

工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)
事前準備			

## 支援手順書/記録用紙

ワークシート⑩

## 【作業場面】

日付け	2000年0月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
-----	-----------	----	--------	-----	------

工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)
事前準備		「さぎょうカード」の準備 「きゅうけいカード」の準備 「おでかけ×カード」の準備 作業机に作業①をセットする	
移動	「さぎょうカード」を受け取り作業机に移動する	入口のところで待つ 田中さんが来たら「さぎょうカード」を手渡す ※入口近くのテーブル席に座らないように、田中さんとテーブルの間に立つ	
作業①	着席し作業①をする 終了したら作業②が出てくるのを待つ	作業中は横に立って見守り 作業が終わったら作業①を片付け 作業②を机に置く	
作業②	作業②をする 終了したら作業③が出てくるのを待つ	作業中は横に立って見守り 作業が終わったら作業②を片付け 作業③を机に置く	
作業③	作業③をする 終了したら「きゅうけいカード」を受け取る	作業中は横に立って見守り 作業が終わったら作業③を片付け 「きゅうけいカード」を渡す	
移動	休憩室に行く	休憩室に行くのを見守る	
休憩	休憩する	休憩中に作業道具を片付ける	

\*「さぎょうカード」「きゅうけいカード」「おでかけ×カード」を作つておく

\*「おでかけ」と言われた時の対応

・「おでかけ×」カードを見せて、今やっていることを続けてもらうようにする

\*本人と関わる際の注意点

・声かけは最小限にする。(声かけが多くなると混乱しやすいため)

## 支援手順書/記録用紙

ワークシート⑪:グループ用

## 【作業場面】

日付け	2000年〇月×日	氏名	田中正則さん	記入者	支援員B
-----	-----------	----	--------	-----	------

工程	本人の動き	支援者の動き・留意点	本人の様子(記録)
事前準備		「さぎょうカード」の準備 「きゅうけいカード」の準備 「おでかけ×カード」の準備 作業机に作業①をセットする	
移動	「さぎょうカード」を受け取り作業机に移動する	入口のところで待つ 田中さんが来たら「さぎょうカード」を手渡す ※テーブルに座らないように、田中さんとテーブルの間に立つ	
作業①	着席し作業①をする 終了したら作業②が出てくるのを待つ	作業中は横に立って見守り 作業が終わったら作業①を片付け 作業②を机に置く	
作業②	作業②をする 終了したら作業③が出てくるのを待つ	作業中は横に立って見守り 作業が終わったら作業②を片付け 作業③を机に置く	
作業③	作業③をする 終了したら「きゅうけいカード」を受け取る	作業中は横に立って見守り 作業が終わったら作業③を片付け 「きゅうけいカード」を渡す	
移動	休憩室に行く	休憩室に行くのを見守る	
休憩	休憩する	休憩中に作業道具を片付ける	

\*「さぎょうカード」「きゅうけいカード」「おでかけ×カード」を作成しておく

\*「おでかけ」と言わされた時の対応

・「おでかけ×」カードを見せて、今やっていることを続けてもらうようにする

\*本人と関わる際の注意点

・声かけは最小限にする。(声かけが多くなると混乱しやすいため)